

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 3 年 3 月 31 日

事業名称		介護報酬外相談業務等事業費 [介護報酬外相談業務等事業]						
予算科目	款 3	民生費	項 1	社会福祉費	目 3	老人福祉費	事業番号	9
事業の種別		☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) ☐ 課内庶務等 ☐ 休止したもの ☒ 廃止したもの						
担当部署・課長名		高齢介護 課 介護給付 係			課長名		伊野宮 崇	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。					施策番号		2 - 2	
【施策名】 高齢者保健福祉の推進					総合計画書(ページ)		51	
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)				
	担当ケアマネジャーのいない利用者の介護保険による住宅改修を行う場合の理由書を作成する事業所			申請回数				
	→							
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)				
この仕事の目的	理由書の作成は煩雑な手間がかかる。担当ケアマネジャーが付いていない被保険者宅の場合の理由書作成のための費用を支払う			支払い回数				
	→							
	③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)				
	制度について事業所へ周知を行った			回数				
この仕事の目的	→							
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標
	対象指標	①の数値	回	1	2	1		
	成果指標	②の数値	回	1	2	1		
	目 標	②の目標値		①の数値	①の数値	①の数値		
	目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。) 申請のあった事業所に対し適切に支援する。							
3 経費	活動指標		③の数値	回	1	1	1	
	事業費(実績)		円	2,000	4,000	2,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	財源	一般財源	円	2,000	4,000	2,000		
		特定財源	円	0	0	0		
		(うち受益者負担)	円	0	0	0		
		人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.02	0.02		
	所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0			
	職員人件費(再任用以外)	円	164,880	166,200	167,600			
職員人件費(再任用)	円	0	0	0				
事業費+人件費		円	166,880	170,200	169,600			
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く							
5 今後の方向性	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く							